

## 指定製品製造業者申請書用 チェックシート

No.	内容	確認項目	確認欄
様式1	申請者(指定業者)	「担当者」は、審査手続の実務者氏名を御記入ください。	
	製造業者	「自社」、「関連会社」、「他社」の別を御記入ください。自社以外は協定書等、契約関係がわかる資料をインデックスNo1に添付してください。	
	製品仕様(仕様)	下記の製品は仕様の他に納入実績の最大値(能力)を記入してください。また、最大値はインデックスNo4の資料で確認できるようにしてください。  納入実績の最大値記入が必要な設備 【機械設備】 主ポンプ、ブロウ、遠心濃縮機、遠心脱水機、ガスタービン、ディーゼルエンジン、攪拌装置、汚泥ポンプ  【電気設備】 発電機・発電機盤、高圧電動機	
	製品仕様(適用範囲)	限定して申請する場合は適用範囲を記載してください。 (例:「高圧速度制御盤を除く」「高圧速度制御盤に限る」など)	

◆様式1以外はCD-ROMでの提出です。No.1～9は必要添付資料です。電子媒体中にすべて保管していることを御確認ください。			確認欄
1	会社概要説明書	製造業者が申請者と異なる場合は「協定書」等、契約関係がわかる資料と他社の会社概要書を添付してください。	
2	製品カタログ及び実績での計算書、図面	カタログ以外に添付する実績の計算書、図面はNo.4の納入実績表に記載のあるものを添付してください。	
3	本市仕様に基づく製品価格、重量、製作工期	製品カタログ等を参考に、本市仕様の規格範囲の価格を表形式で御提出下さい。規格範囲が不明な場合はひな形を提供します。	
4	本市仕様に基づく製品・機種を選定理由書、必要な計算例	機器製作仕様書等を利用し、本市一般仕様書と申請機器の仕様の比較ができるようにしてください。一般仕様書のどの項目に該当しているか、計算書の数値に番号等記号を振り、同じ記号を一般仕様書上に手書きなどで記載してください。計算例は承諾図で使用する容量計算書を指します。	
5	機能確認(試験、検査の場所及び体制等)のできる説明書及び資料	検査要領書を添付してください。試験体制(組織図、人数)等の他、工場の平面図及び試験場を示す図面及び最寄り駅からの案内図により、検査場所が自社または製造会社か(第3の会社がかかれていないか)を確認します。	
6	納入実績表	納入先自治体名称、施設名称、担当部署名、所在地、電話番号、受注形態(元請・下請)を具体的に記載してください。直近過去5年分は必須です。納入機器の最大値(能力、容量など)には印をつけてください。様式1の数値、No2の機器と同一であるか確認します。	
7	品質管理・品質保証の具体的な説明書	社内基準値・品質管理工程表、品質マネジメントシステム体系図、プロセス体系図等を添付してください。	
8	アフターサービス体制	2年間の設備保証と目標耐用年数までの保守維持が可能であることを明記してください。  緊急連絡体制を添付してください。また、アフターサービス体制を明記し、修理を他に委託している場合、代理店契約している会社がある場合は契約書などを添付してください。	
9	その他	他自治体認定証、技術審査証明証、ISO認証等	

### 【提出物のフォルダ構成】

CDラベル(盤面)に、「年度」「企業名」「指定品目」を記載して下さい。

様式1に記載する必要添付資料のインデックスNoをつけてください。フォルダ内のファイルは、内容が分かるタイトルにして下さい。

